

令和7年度コミュニティケアワーカー 養成研修のご案内

令和3年度より養成が始まったコミュニティケアワーカー研修を今年度も開催いたします。コミュニティケアワーカーは、「介護」を通して本人の「地域生活」を支援する介護職です。そのために必要な、医療やリハビリ職と連携する知識・技術を学びます。また、チームや地域連携の中核的存在としての役割を担えるチームマネジメントの知識を習得します。ぜひ、皆様のお申込をお待ちしています。

日 程：2025年10月10日(金)、11月7日(金)
12月22日(月)
2026年 2月9日(月)、3月3日(火)
(計5日間)

定 員：20名

対象者：以下の①～③の要件を満たすもの
(詳細は開催要綱を参照)

- ①地域密着型サービス事業所等におけるチームリーダー等
- ②介護福祉士資格を有する者
- ③介護福祉士ファーストステップ研修修了者(次年度以後の受講予定でも可)

受講料：無料

締 切：2025年9月16日(火)必着

第9期京都市民長寿すこやかプランより
(抜粋)

地域包括ケアを担う指導的介護人材(コミュニティケアワーカー)の養成及び地域づくりや地域住民への支援の在り方研究・推進

…(略)…本人と本人を取り巻く環境との関係性を理解し、尊厳ある一人の人間として関わることができ、当事者と家族、地域等との可関係性を意識した働きかけができる専門的人材の育成が、今後の地域連携と地域包括ケアシステムの構築に有効です。そのため、…(略)…日常生活圏域や学区等で活動する…(略)…リーダー層を対象とした地域包括ケアを担う指導的介護人材(コミュニティケアワーカー)の養成のための研修を実施し、地域包括ケアの充実に取り組みます。

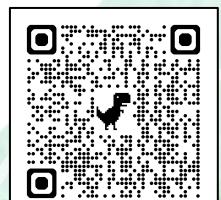
養成研修の到達目標例

本人の心身状態、家族等との関係、生活環境等を理解し、生活そのものを支える観点から、必要なケアを検討できる

介護を含む生活のニーズに対応するため、関係機関や地域と連携し、「地域生活」の支援方針を検討できる

ニーズに即したケア・支援を適宜・柔軟に行うため、介護職等や地域・関係機関等でチームを組んで対応できる

詳細は地域密着協HPから
開催要綱をご確認ください→
<https://kyototkm.com/活動紹介・研修情報/>



実施主体：京都市
受託団体：一般社団法人
京都地域密着型サービス事業所
協議会



R3年度 第1期生の事例集を作成しました

主催：一般社団法人京都地域密着型サービス事業所協議会（地域密着協）

TEL：075-354-8706 FAX：075-354-8770

EMAIL:kyoto-tiiki-mittyaku@lime.ocn.ne.jp

日程	科目名、内容		時間数	講師
1日目 10月10日 (金)	コミュニティケアワーカー導入研修（認定介護福祉士概論）		8h 9:30-17:20	
	講義 (公開講座)	コミュニティケアワーカーとは/京都市版地域包括ケアシステム 地域で求められるコミュニティケアワーカーの役割・実践力	1h	京都市 杉原優子
		社会的動向と介護福祉士の役割の変化、求められる実践力など (地域における機関間連携、多様な資源の協働、チームマネジメント、介護力向上)	2h	
	講義 演習	事例に基づく演習 ①在宅生活の支援と家族支援・地域との関係形成 ②多職種・他機関との連携 ③チーム運営・メンバーの成長支援	5h	諏訪徹
2日目 11月7日 (金)	地域生活継続支援概論		3h 9:30-12:30	
	講義 演習	1日目の事後課題を使用して学習 自職場の課題・チームの課題・地域とのつながり	1.5h	杉原優子 岩佐淑子
	講義 演習	実践事例をもとに講義と演習 地域包括支援センターブランチとしての小規模多機能の役割 地域生活継続のための地域資源ネットワーク	1.5h	
	認知症のある人への生活支援・連携		3h 13:30-16:30	
3日目 12月22日 (月)	講義 演習	認知症の病態生理・疾患と治療 認知症の生活機能に焦点をあてたアセスメントとケア 生活継続のための地域資源の活用、連携の視点	3h	西村優子
	医療及びリハに関する知識の必要性		6h 10:00-17:00	
4日目 2月9日 (月)	講義 演習	生活場面における医療リハ知識の活用の実際 生活支援における服薬管理・薬剤師との連携、急変時の対応など 生活支援に必要な運動生理の知識、リハ職との連携に必要な知識	6h	西村優子 神内昭次
	チームマネジメント I		3.5h 9:30-13:00	
	講義 演習	CCとしての事務所内チームにおける介護実践 (演習) 映像教材を活用した場面の理解と応用	1.5h	
	講義 演習	CCとしての地域における介護実践の展開（家族含む）① (演習) 映像教材を活用した場面の理解と応用	2h	
	チームマネジメント II		3.5h 14:00-17:30	
	講義 演習	CCとしての地域における介護実践の展開（家族含む）② (演習) 映像教材を活用した場面の理解と応用	2h	
5日目 3月3日 (火)	講義 演習	生活継続のための地域課題の分析 地域に対するプログラムの企画	1.5h	
	応用的生活支援の展開と指導		3.5h 9:30-13:00	
	講義 演習	応用的生活支援の展開 利用者の状態を積極的に改善することを目指した一連のサービス展開、根拠となる知識（人の解剖生理等）、生活支援全体のプランニング、チームケアの展開における指導の留意点	3.5h	
	チームマネジメント III		3.5h 14:00-17:30	
講義 演習	CCとしての地域における介護実践の展開③ 各職場において、地域等の住み慣れた場、利用者にとって最適の場においての、自立した生活を送るためのアクションプランの作成	3.5h	宮島渡	

会場：京都教育文化センター